

上越市議会議員 丸山 章 だより

全力で皆様の声を市政に!!

隕石の里から

いん せき さと



第17号 令和7年5月

発行責任者 丸山 章 / 上越市清里区馬屋777

令和6年12月議会 =あきらの一般質問= 13区に 力強く動き出す組織体制へ

提言 「未来創生スペシャルセンター」設立

人口減少・少子高齢化の抑制に挑む



立ち向う

疲弊する中山間地域の課題を改善!!

平成17年1月1日の合併で新上越市が誕生してから20年目にに入つたが、中山間地域の課題は一向に改善されないまま時だけが過ぎた感は拭えない。住民から諦めの声すら聞かれる。このままの状態が続くならば、将来の中山間地域の姿は想像に難くない。ここに至つた根本原因は何なのか、改善させる手立

てはないのか、私は、これまでの行政の政策（施策）の検証をはじめ、総合事務所、まちづくり振興会等の強化や法人の特徴の検討等、様々なことを想定しながら最善手を模索してきた。結果として、中山間地域の課題を改善に向かわせるには、地域住民のご理解、ご賛同が前提になるが、まずは現状の組織体制の抜本的改革を行なう。地域づくりのエンジン部分になり得る新たな組織体制の構築は必要不可欠であると結論付けた。よって以下を提言する。

センター設立の必要性

急務地域ビジョンの策定

当市の面積は973km²と広く、13区においては歴史的な風土や文化等が異なることから、共通する課題とそうでない課題が混在するのが現状でありながら、13区の地域ビジョンが策定されない異常ともいえる状態が続いている。現状の課題と問題点を整理しつつ、将来を見据えた有効な政策、対策を立て実行に移さないことは、中山間地域の維持・向上・発展は見込めない。中間地域の人口減少と少子高齢化は想定以上に進んでいる。「空き家が増え人も減つて困る。我々の区

を何とかしてほしい」との切実な声を聞くたびに胸が締め付けられる。現状を開拓すべく、現総合事務所の抜本的見直しと同時に、まちづくり振興会等を統合し、地域組織を13区に設立すべきである。地域自治推進プロジェクトで総合事務所、まちづくりセンターの在り方など、必要な見直しを行うため、次年度から地域協議会や地域団体のご意見を踏まえながら具体的な制度設計に入していく予定である。今後、見直しに向けた方向性を丁寧に議論していく中で、議員提案の考え方や手法について参考とさせていただく。

問 / 若い人達等から地元に留まつてほしい。高齢で除雪が大変だから平場におりたいが、でも地元に住みたい、だから住宅団地等を造つてほしい。運転免許を返納したので買い物に行けない、家にいながら買いたい物ができるようにしてほしい。こうした市民の想いをまとめたのが地域ビジョンである。

答 / 地域協議会でビジョンをまとめていくことになる。

問 / ビジョンがあつて、はじめて有効な戦略等がたてられ計画を実施に移すことができるところから、とても重要である。

答 / 地域ビジョンとは、地域活性化

の方向性を磨き上げて行くものである。

問／地域協議会で自主審議と称して地域振興等について話し合われているが、地域ビジョンをつくる上で重要なのは、各年代層から集まっていたらしくことである。

答／地域協議会は公募公選制で選ばれ、幅広い世代層と男女の意見を反映し、地域活性化の方向性を作成している。

あきらの補足／地域協議会の現状を把握してほしい。そうでないと議論がかみ合わない。

問／地域づくりを推進するうえで、共通の趣旨、理念等を備え、どのような地域にしたいかを明確にするとともに、現状の立ち位置、方向性等の分析を繰返すことが重要である。

答／議員提案のセンターの考え方には、我々の方向性と一致しており、必要によりそうした手法を取り入れていきたい。

あきらの補足／提言内容は、地域、行政にとつても利点は多く、一石三鳥、四鳥の効果が期待できる。もはや中山間地域の課題を先延ばしできない。疲弊する地域を再生させるべく、危機感、

スピード感を持つてセンター設立を決断してほしい。

要な業務に対応することから、現集約先（柿崎区、浦川原区、板倉区）に存続させる。

へまちづくり振興会等▼

①本来、行政は積極的に住民と結びつきを持ち協働で地域の維持、向上、発展に導いていくことが大きな役割でありながら、現状は同じテーブルに着き、一緒に繋げているとはいえない。

②社会の変遷とともに、複雑化する地域の課題等の改善に向け、行政はその時々に応じた要請に答えて行くことが求められる。旧態依然とした組織体制を見直し、一般事務、維持管理的な業務は木田庁舎に編入させると同時に、市職員を新組織に出向させ、地域住民と共に地域づくりを推進させることが重要である。



大島区田麦

古い組織体制の打開

△総合事務所▼

①設立の経緯や背景などを踏まえながら、目的に示されている業務に対応することで、手一杯の状況と思われることもある。また、まちづくり全般を見据えたビジョン等の策定について、限られた人員での策定は困難な状況といえる。

時代が求める組織へ

センター設立

効果的な地域づくりを推進

△組織機能・業務内容▼

①地域と行政の協働による地域づくりを推進することが決め手になる。

②地域ビジョン、戦略、戦術を策定する。
③ワントップ機能を持たせる。
④課題を共有し、地域づくりが効率的・効果的に推進できる体制にする。
⑤行政職員の持つ知見、知識等をまちづくりに活かす。
⑥中山間地域の大きな課題である人材不足による悪影響を改善させる。
⑦若年層から高齢層まで、安心安全に生活できる地域づくりを推進する。
⑧組織体制はP4通り。

4つのポイント

13区では、人口が横ばい状態の区もあれば人口減少が顕著である区など、状況は様々である。人口減少、少子高齢化が顕著の区をベースにして、「組織力の強化」「地域力の向上」「後継者不足の改善」「リスク回避」の4項目をポイントに、維持・向上・発展に導くための体制にする。

△組織力の強化▼

地域の課題等を洗い出しのうえ可視化し、地域ビジョンの作成はもとより、未来創生に向けたマネジメント力を高める。

△地域力の向上▼

地域ビジョンを基に、住民・町内会等各種団体の人材の高齢化の改善に向けて、住民、行政の協働により具体的な施策の練り上げと事業実施により、地域の課題等の改善、解決に結び付けていく。

△後継者不足の改善▼

個々の団体の改善策を導き出す。

法律の遵守等の対応、国県等の補助（支援）金の活用及び、効率的で効果的な地域づくりに向けた事業執行に導くには行政職員の知見等は欠かせない。

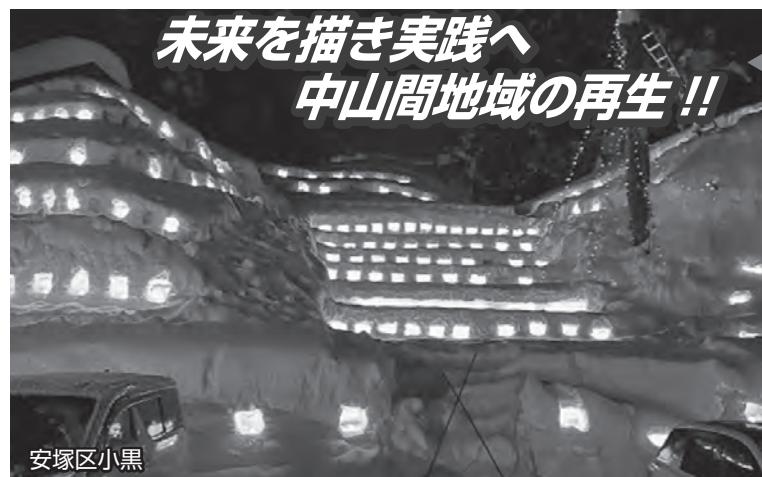
総合事務所は支所に

現組織の今後

(1) 現集約先総合事務所3区
(柿崎区・浦川原区・板倉区)を集約先支所とし、
10区を支所とする。

(2) 現まちづくり振興会等
(a) 「未来創生スペシャル
センター」に移管する。
(b) 職員は、そのまま新組織に移管する。
(c) 財産に関しては、現状の用途を遵守しつつ地域づくりに活用する。

機動的な組織体制を構築



新組織設立の意図

新しい組織

なぜNPO法人?

④区在住者から2名程度任期付きで採用する。
⑤まちづくり振興会等の職員をセンター職員とする。
⑥アドバイザーを配置する。

▲財源▼

①市の補助（助成）金
②まちづくり振興会等の財産
③ふるさと納税等による財源確保

△期待される効果▼

①人口減少、少子高齢化が進み、人材不足が懸念される中山間地域において、行政職員等が積極的に地域づくりに関わる体制を整えることで、市民の熱意が醸成されることが期待できる。
②若者から高齢者まで、地域づくりへの関心を高めることが期待できる。
③地域ビジョンに基づき、地域づくりに向けた有効な施策の展開や価値ある投資が期待できるうえ、有効な事例等について各区へ波及できる。
④地域づくりのアイデア、意見等を机上、現場等を通じてスピーデ感を持って対応できる環境が整う。
⑤SNS等を積極的に活用し今以上の独自の魅力発信に繋げられる。

今まで、中山間地域は大雨による土砂の流失等の防止や水・食料の供給はじめ、国土の保全とともに平場地区へ様々な恩恵をもたらす役割を担ってきました。しかし、近年は地球温暖化が影響していると思われる災害の多発をはじめ、耕作放棄地の増加や山の手入れ放棄などに起因する自然災害が拍車をかけ、公益的機能を果たせない状況になりつつあります。これ以上の環境保全機能の悪化は、市全体に有形無形な影響を及ぼすことが懸念されます。国・県も多額の予算を投じて中山間地域の維持・保全・振興に努力していることから、当市として今何を行うべきか、先ずは人口減少の抑制に向け、総力を挙げて効果的な政策（施策）を実行して行くことが重要と考えます。

- 税金の優遇、設立費用の軽減、公的機関との連携等が見込める。
- **活動資金が見込める。**
- ① 活動をするにあたり、正・贊助などの会員による会費の徴収が可能である。
- ② 活動に共感してくれる人からの寄附を受けられる。
- ③ 「事業（ビジネス）」が可能で、稼いだ利益を地域づくりに役立つ活動に使用できる。
- ④ 行政からの補助金等を活用できる。

新組織 未来創生スペシャルセンター

[例 清里区事務分掌]

現総合事務所業務体制	新組織(業務移管先)
○総務・地域振興グループ	
【総務班】	
・新市建設計画における所管区域に関すること。 ・所管区域内のコミュニティプラザに関すること。 ・担当区域内の消防防災、危機管理、防犯及び交通安全に関すること。 ・担当区域内の市有財産の管理に関すること。 ・総合事務所の庶務に関すること。	木田庁舎 担当課 清里未来創生スペシャルセンター
【地域振興班】	
・所管区域内の地域振興に関すること。 ・所管区域内の地域協議会の運営に関すること。 ・所管区域内の地域の団体間及び地域の団体と市の連携調整に関すること。 ・所管区域内の地域独自の予算事業の推進及び調整に関すること。 ・その他所管区域内の地域自治の推進に関すること。	清里未来創生スペシャルセンター
【産業建設業務窓口班】	
・担当区域内の道路及び橋りょう等に係る相談の受付等に関すること。 ・担当区域内の除雪及び消融雪施設に係る受付等に関すること。 ・担当区域内の農林水産業に係る受付等に関すること。 ・担当区域内の商工観光に係る受付等に関すること。 ・担当区域内の河川に係る受付等に関すること。 ・担当区域内の砂防及び地すべり防止に係る受付等に関すること。 ・担当区域内の災害復旧に係る受付等に関すること。 ・担当区域内の農業集落排水及び浄化槽に係る受付等に関すること。 ・担当区域内の公営住宅に係る受付等に関すること。	清里未来創生スペシャルセンター
※産業グループ、建設グループについては、引き続き集約先支所(3区)に置く。	集約先板倉支所
○市民生活・福祉グループ	
【税・市民生活班】	
・総合窓口に関すること。 ・戸籍、住民基本台帳及び印鑑登録に関すること。 ・担当区域内に係る市税等の賦課調査及び徴収に関すること。 ・担当区域内の環境の保全及び廃棄物に関すること。	清里支所
【福祉班】	
・国民健康保険、後期高齢者医療制度及び国民年金に関すること。 ・担当区域内の介護保険に関すること。 ・担当区域内の社会福祉に関すること。 ・担当区域内の保健に関すること。	清里支所 清里支所 清里支所 清里支所
○教育・文化グループ	
・公印の保管に関すること。 ・文書の收受及び発送に関すること。 ・車両の運行管理に関すること。 ・所掌事務に係る庶務に関すること。 ・所管区域内におけるスクールバスの運行管理に関すること。 ・所管区域内の社会教育の推進に関すること。 ・所管区域内の生涯学習の推進に関すること。 ・所管区域内の学校施設、社会教育施設及び体育施設の管理運営に関すること。 ・所管区域内のスポーツの推進に関すること。 ・所管区域内の公民館活動の支援に関すること。	教育プラザ 担当課 教育プラザ 担当課 教育プラザ 担当課 教育プラザ 担当課 教育プラザ 担当課 清里未来創生スペシャルセンター 清里未来創生スペシャルセンター 教育プラザ 担当課 清里未来創生スペシャルセンター 清里未来創生スペシャルセンター

令和6年9月議会 =あきらの一般質問=

高田城址公園の付加価値を高める!



黄金に輝く!

高田城址公園の桜

民の手づくりによる観光資源の創出は、究極のまちづくりであり、地域づくりにつながるもので、まちづくりの原点である。しかも日本・世界でこうした試みはないと思われることから特徴づけられ、その波及効果は極めて大きく、話題性、注目度も加速する。

①「日本桜庭園上越」の構想について、見解は言及します。また、この構想が実現すれば、市内や県内外への観光客の誘客効果が期待されるため、市内の経済活性化につながる可能性があります。

②協力機関ごとに協議のうえ、植栽可能地に桜を植えていただく。③植栽面積、本数ともに、日本・世界に類を見ない規模にする。まずは10万本を目指とする。

④並行して、他の観光資源の魅力向上させ、ストーリーを立てていく。

⑤観光の軸となる「しつかりした幹」に、しなやかな枝（様々な観光資源）を配し、話題性、関心度、注目度の高い極上の観光都市をめざす。

国内外から注目 崇高な都市づくり

提言

【日本桜庭園上越】構想

期待される効果

①「日本桜庭園上越」の呼称が画等に反映され、市民の認識が深まり意識統一が図られる。

②市民の方々の更なる自信と向上心の高まり。

③愛着や誇りを抱ける地域づくり。

④当市の知名度、ポテンシャルの向上。

⑤県内外、外国人客の誘客やり

ピーター増につながる。

⑥他の観光資源への波及・相乗効果が望める。

⑦多種多様なジャンルでのブランディングにつながることが期待できる。

⑧上越市のネームバリューを高めることにより、上越市の認知度が上がるとともに、各分野の様々な政策（施策）でも化学反応が期待できる。

⑨20年後を見つめながら当市全域を日本桜庭園化し、世界に誇れる「黄金の都市」づくりをめざす。市

の街並みの形成及び寺院群などの豊富な観光資源を複合的に絡み合わせ、それぞれの持ち味を高めていく。そして、10年後を見つめながら当市全域を日本

春日山城、雁木町屋立せる。そのうえ、当市の木「桜」という観光資源により、当市の魅力を際立たせる。そのうえ、春日山城、雁木町屋

の街並みの形成及び寺院群などの豊富な観光資源を複合的に

絡み合わせ、それぞ

れの持ち味を高めていく。そして、10年後を見つめながら当市全域を日本

春日山城、雁木町屋

の街並みの形成及び

寺院群などの豊富な

観光資源を複合的に絡み合わせ、それぞ

れの持ち味を高めて

いく。そして、10年後を見つめながら当市全域を日本

春日山城、雁木町屋

の街並みの形成及び

寺院群などの豊富な

観光資源を複合的に

絡み合わせ、それぞ

れの持ち味を高めて

いく。そして、10年後を見つめながら当市全域を日本

春日山城、雁木町屋

の街並みの形成及び

